

天田 勇 理事長を悼む

財団法人 天田金属加工機械技術振興財団
専務理事 長谷見稔夫

当財団の理事長であり、株式会社アマダの創業者・取締役名誉会長である天田 勇様が去る1月20日に心不全のため永眠されました。

謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

理事長は、大正2年12月13日東京都北豊島郡高田村に生まれ、苦学しつつ、昭和9年3月早稲田高等工学校機械工学科を卒業、昭和21年9月、天田製作所を創立、これを昭和23年6月に合資会社に改組しました。

次いで、昭和28年10月株式会社天田製作所(昭和39年1月、現在の株式会社アマダに社名変更)を設立し、以来同社代表取締役社長を務め、昭和58年11月、代表取締役会長、平成5年6月、取締役名誉会長に就任し、アマダ・グループの総帥として活躍してまいりました。

この間の業績と榮譽につきましては、いまさら、言うまでもありませんが、その一端を述べますと昭和50年に金属加工機械器具特に金切り帯鋸盤と帯鋸刃の発明・改良により、紫綬褒章を受賞。昭和59年に勲三等端宝章受賞。昭和63年に我が国工業界への貢献が認められ伴記念名誉賞を受賞。平成2年には塑性加工技術振興に対する貢献が認められ日本塑性加工学会功労記念賞を受賞しました。その他国内外からの受賞は枚挙に暇がないほどであります。

また、財団法人 天田金属加工機械技術振興財団は、産業界が、ハードな機械技術から人間性や文化性を加味したソフト重視の転換を求められると共に、国際化時代を迎えて独創的機械技術の創造が重要視されてきたことから、金属等の塑性加工に関する基礎的、応用的な技術並びにその関連技術の研究に関わる助成を通じて、塑性加工技術の向上をはかり、我が国の産業及び経済の健全な発展に寄与することを目的として昭和62年5月に設立されました。

設立にあたっては、天田 勇理事長が巨額の私財を寄付し、財団の基金とするとともに、理事長として財団の運営、助成案件の選定などを通じて塑性加工を中心とした科学技術の向上に努めてまいりました。

この財団の助成事業は、昭和62年の設立以来平成8年までの10年間に研究開発及び奨励研究に対する助成総額は、339件、金額にして、7億543万円、国際会議等参加助成、国際会議等開催準備助成、外国人技術者養成援助助成などの国際交流助成は、97件、金額にして、3千747万円に及んでおります。これは、金属を主とする塑性加工技術分野の研究に携わる多くの新進気鋭の研究者たちにとって、研究推進の大きな支えとなっており、その成果は、素形材産業全般の進展に寄与しております。

波羅密にあたり、回り灯籠のように思い出しますのは、理事長が資性、温厚にして人情味あふれ、しかも何事につけて势力的に活動する野性的な魅力があったということです。そのうえ、常に独創的な創意工夫に挑み、一度目的を定めたら緻密な計画と抜群の実行力をもって必ずこれを完遂される信念の人でありました。

当財団は、今後とも故天田理事長のモットーである創造の精神を大切にし、塑性加工機械に関する技術の向上に努め、わが国の産業ならびに経済の健全な発展に全力を尽くしたいと考えております。

安らかに涅槃の夢をお楽しみ下さい。

合掌